

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度		科目名	インテリア技術		
科目基礎情報								
開設学科	インテリアデザイン科			コース名	全		開設期	後期
対象年次	1年生			科目区分	必修		時間数	30時間
単位数	2単位						授業形態	講義
教科書/教材	教科書[インテリアコーディネーター　ハンドブック　総合版下　]/参考資料等は、授業中に配布する。							
担当教員情報								
担当教員	角田光代			実務経験の有無・職種		有・インテリアコーディネーター		
学習目的								
構造・構法、環境工学・設備など、インテリアに関わる上で理解しておくべき技術的知識を身につける 建築・インテリアの時代的变化や技術的進歩に合わせて身につける								
到達目標								
建築という構造物の中にインテリア空間をつくるための構造・構法と仕上げ、 室内環境とそれを支える設備について知識をつけ、インテリアコーディネーターの資格取得も目指す。								
教育方法等								
授業概要	建物の構造・構法、建物や空間をつくる建築材料・内装材、 住環境を左右する1、熱と湿気、2、換気と通風　3、音環境　4、光環境から、 調和させる設備、器具まで　技術的知識を学ぶ。							
注意点	各単元において、配布資料があり授業内で活用する。また、単元ごとに小テストを行い知識の定着を図る。 欠席などの理由により配布プリントを受け取れていない場合は、翌週の授業よりも前に担当教員より受取ること。 授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。							
評価方法	種別	割合	備　考					
	試験・レポート	60%	レポート・試験・課題を総合的に評価する					
	ワーク・小テスト	30%	授業内容の理解度を確認するために実施する					
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する					
授業計画（1回～15回）								
回	授業内容			各回の到達目標				
1回	建築構造・構法①			木造を中心に各構造の特徴を把握する				
2回	建築構造・構法②			鉄骨造、RC造などその他の構造の特徴を把握する				
3回	建築構造・構法③			各部材の形や組み合わせ方、建築用語、名称の意味を正確に覚える				
4回	内装材料①			木質建材の理解から特徴と使用される場所の適性を見極める				
5回	内装材料②			石やタイル、各種材料の特徴と使用される場所の適性を見極める				
6回	内装材料③			塗料など、仕上げ方法の種類と違いを理解する				
7回	環境工学と設備①			各種指標の意味と関連する設備を理解をする　①熱と湿気、冷暖房設備、給排水設備				
8回	環境工学と設備②			各種指標の意味と関連する設備を理解をする　②換気と通風、空調設備				
9回	環境工学と設備③			各種指標の意味と関連する設備を理解をする　③音環境、吸音・遮音				
10回	環境工学と設備④			各種指標の意味と関連する設備を理解をする　④光環境、照明設備				
11回	環境工学と設備⑤			各種指標の意味に関する理解をする　⑤その他電気設備やキッチン・サニタリーの設備機器				
12回	建築関連法規①			各種用語の法律上の定義を理解し、定められた数値を覚える				
13回	建築関連法規②			法規の適用条件だけでなく、例外となる条件からの視点においても理解する				
14回	消費者関連法規			商品などに関する法規。特に省エネやエコロジーに関する制度について理解をする				
15回	振り返りとまとめ			後期単元の理解度の確認を行い、2年次インテリアコーディネーター対策の導入をスムーズにする				